

# 自作の笛で

## 小鳥とお話をしよう

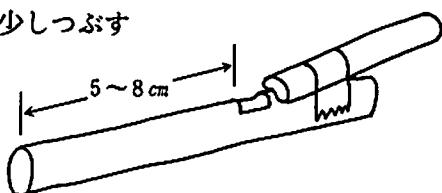
札幌市立旭小学校 本間 達志

「ピーピー、チュンチュン」どこからか小鳥の声。あのかわいらしい鳴き声は何の鳥かな。小鳥たちと話ができたらな、と思っている人も多いと思います。自分の呼びかけに小鳥たちが応えてくれたなら、どんなに素晴らしいことでしょう。

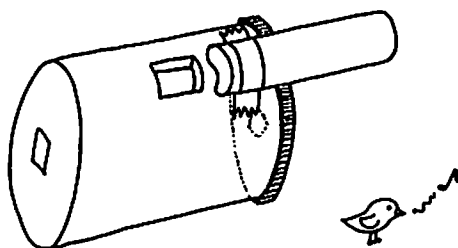
身の回りにある物で、小鳥たちとお話ができる笛をつくってみましょう。

ストロー笛 (太めのストロー)

少しつぶす

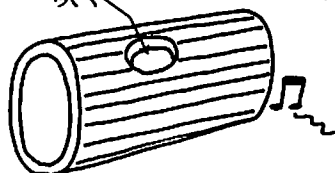


フィルムケース笛



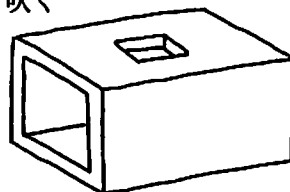
イタドリ、オオハナウド笛

吹く (乾燥したものを)



厚紙の笛

吹く



◎他に利用できるもの  
塩ビ管、ホース、  
竹など円筒形のもの

どの笛もとてもいい音が鳴ります。また、両端の穴を指でふさいだり開いたりすると、音色が変わります。工夫すれば曲も吹けます。

小鳥と親しむといったことを、「近くに山がないから」とか、「木や草花が少ないから」、「鳥よせがないから」とあきらめかけてはいませんか。小鳥の鳴き声はいろいろなところから聞こえてきます。校庭や電線、道路を歩いている時。そんな時、ポケットから笛を取り出し、吹いてみましょう。もしかしたら返事が返ってくるかもしれません。そうしたら、小鳥と心が通じたということになります。自分の生きている世界が広がります。返事が返ってこなくても、期待感はどんどんふくらんでいきます。